

外部評価機関 第1回委員会 議事要録

1. 開催日時：令和3年4月9日（金） 11:00～11:50

2. 開催場所：日本電気協会 C会議室+Web

3. 出席者：（敬称略）

【委員長】 小野〔東京大学〕

【委員】 平岩〔日本品質保証機構〕

岩下〔電気安全環境研究所〕

【オブザーバー】 中川、吉川〔経済産業省〕

【事務局】 吉岡、五十嵐、小林、田弘〔日本電気協会〕

4. 配付資料：

資料 No.1-1 外部評価機関 委員名簿（令和3年4月9日現在）

資料 No.1-2 競争法に係わるコンプライアンス規程

資料 No.2 日本電気技術規格委員会について

資料 No.3-1 令和2年度 日本電気技術規格委員会において実施した民間規格等リスト化の評価プロセスに関する適合性確認について

資料 No.3-2 JESC E3002(2001)「鉄塔用 690N/mm²高張力山形鋼」の架空電線路の支持物の構成材への適用」

資料 No.3-3 電気設備の技術基準の解釈の改正及び JESC 規格との関連付けに関する要請（国へ提出した要請書）

資料 No.4 民間規格評価機関の評価・承認による民間規格等の電気事業法に基づく技術基準（電気設備に関するもの）への適合性確認のプロセスについて（内規）の制定について（国の要件）

資料 No.5 日本電気技術規格委員会 規約等一式

5. 議事要旨：

5-1. 出席委員の確認及び委員会の成立

外部評価機関の初回開催に伴い、委員長の選任まで議事進行は、吉岡事務局長により進められた。

冒頭、事務局より、本日の出席者が「外部評価等に係る要領」第6条で規定する全委員の出席（3名）を満たすことが報告され、委員会の成立が確認された。

5-2. 委員等自己紹介及び経済産業省電力安全課の挨拶

委員、オブザーバー、事務局より自己紹介が行われ、経済産業省 電力安全課の中川課長補佐より以下の挨拶があった。

「昨年度に一括エンドーススキームが無事に施行され、このスキームを活用した電技

解釈への規格の反映が初めて今年度の実現できそうな状況から、ご尽力いただいた日本電気協会の皆様には大変感謝しています。

本日より、外部評価機関の委員の皆様には、一括エンドーススキームの公正性等についてご確認いただきますが、経済産業省としてもこの委員会にオブザーバーとして参加し、確認をさせていただきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。」

5-3. 議題及び配付資料の確認

事務局より議題及び配付資料について説明があった。その後、本日の議題が資料No. 1-2の競争法コンプライアンス規程第4条(禁止事項)にあたらぬことが委員会で確認された。

5-4. 委員長の選任

(審議)

「外部評価等に係る要領」第5条に基づき、令和3年度 外部評価機関の委員長の互選を実施した。

事務局長より、委員長に東京大学の小野委員の提案があり、審議の結果、承認された。

選任された小野委員長より以下のとおり挨拶があった。

「東京大学の小野です。委員長に選任いただきありがとうございます。これまで電気製品の安全規格に関する委員会についていろいろ関わっており、JQA、JETの皆様には大変お世話になっております。一方、電気設備に関する委員会の経験はこれまであまりありませんが、委員長として責務を全うしていきたいと存じますのでどうぞよろしく願いいたします。」

以降の議事は、小野委員長により進められた。

5-5. 日本電気技術規格委員会について

事務局より、資料No.2に基づき、日本電気技術規格委員会について説明があった。

5-6. 令和2年度 日本電気技術規格委員会において実施した民間規格等リスト化の評価プロセスに関する適合性確認について

(審議)

事務局より、資料No.3-1からNo.3-3に基づき、令和2年度 日本電気技術規格委員会において実施した民間規格等リスト化の評価プロセスに関する適合性確認について説明があった。

審議の結果、本件は承認された。

以下に主なコメントを示す。

(質問)

Q1：資料No.3-3に掲載されている委員名簿を確認したところ、プロセス評価委員会の委員長を務めている日高先生が、JESCでは顧問として参加しているが、JESCでは

アドバイザーというような位置付けでご参加されているという認識でよいか。プロセス評価の観点で、同じ方が JESC とプロセス評価委員会に参加されているので、疑問に感じ質問をさせていただきました。

A1：過去に JESC の委員長を務めていただいた日高先生には、現在は顧問という位置付けで JESC にご参加いただいている。JESC の顧問は、委員と異なり、審議における議決権は与えられてない。ご質問のとおり、アドバイザーという形で JESC にご参加いただいているという認識で問題ない。

6. その他

事務局より、次回委員会は、来年の 3 月もしくは 4 月に予定し、具体的な日時は別途調整を行う旨、連絡があった。

以上